

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月12日 (2018.7.12)

【公表番号】特表2017-516827(P2017-516827A)

【公表日】平成29年6月22日 (2017.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2017-023

【出願番号】特願2016-571105(P2016-571105)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/5415 (2006.01)

A 6 1 K 31/473 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/517 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/5415

A 6 1 K 31/473

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/517

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月30日 (2018.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

エルロチニブ、パクリタキセル、シスプラチン、ゲムシタビン、ペメトレキセド、5 - フルオロウラシル、イリノテカン、ベパシズマブ、TS - 1、オキサリプラチン、およびそれらの組み合わせで構成される群より選択される化学療法薬と併用して、がんを患う被験者を治療するためのおよび患者の生存を延長するための薬剤を製造するための、プロクロルペラジンもしくはその類似体または代謝物あるいはその薬学的に許容可能な塩の使用。

【請求項 2】

前記がんが、肺がん、肝臓がん、大腸がん、脳腫瘍、乳がん、すい臓がん、胃がん、膵がん、扁平上皮がん、および大細胞がん構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記がんが、肺がん、すい臓がん、胃がん、膵がん、および扁平上皮がん構成される

群より選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記がんが肺がんであることを特徴とする、請求項 3 に記載の使用。

【請求項 5】

前記肺がんが非小細胞肺がん（NSCLC）であることを特徴とする、請求項 4 に記載の使用。

【請求項 6】

プロクロルペラジンの前記代謝物が、N - デスメチルプロクロルペラジン、プロクロルペラジンスルホキシド、およびプロクロルペラジンスルホキシド 4' - N - オキシドで構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

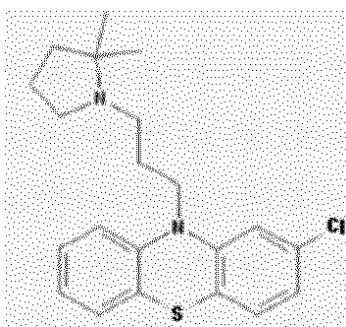
【請求項 7】

プロクロルペラジンの前記代謝物が、N - デスメチルプロクロルペラジンであることを特徴とする、請求項 6 に記載の使用。

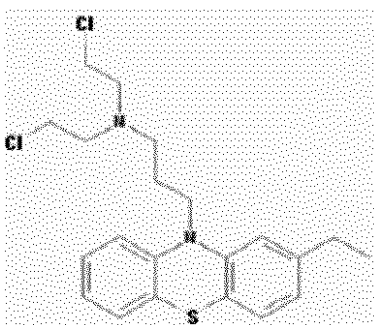
【請求項 8】

プロクロルペラジンの前記類似体が、次の構造の化合物で構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 1 に記載の使用。

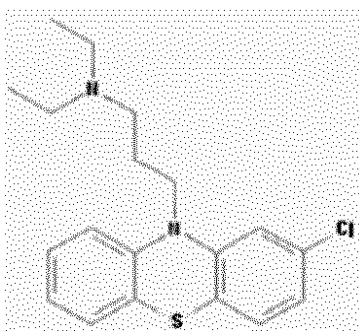
【化 1】



【化 2】

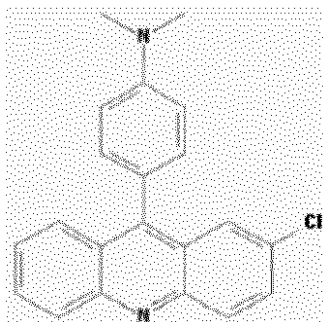


【化 3】



および

【化 4】



【請求項 9】

がん細胞の大きさと数の減少に相乗効果を示す有効量での、化学療法薬、およびプロクロルペラジンもしくはその類似体または代謝物あるいはその薬学的に許容可能な塩の組み合わせ剤であって、該化学療法薬が、エルロチニブ、イリノテカン、パクリタキセル、シスプラチン、ゲムシタビン、ペメトレキセド、5 - フルオロウラシル、ペバシズマブ、TS - 1、オキサリプラチン、およびそれらの組み合わせで構成される群より選択される、該組み合わせ剤。

【請求項 10】

がん細胞の増殖阻害に相乗効果を示し、および患者の生存を延長する、請求項 9 記載の組み合わせ剤。

【請求項 11】

エルロチニブ、イリノテカン、パクリタキセル、シスプラチン、ゲムシタビン、ペメトレキセド、5 - フルオロウラシル、ペバシズマブ、TS - 1、オキサリプラチン、およびそれらの組み合わせで構成される群より選択される化学療法薬と併用して、がん転移を防止するための薬剤を製造するためのプロクロルペラジンもしくはその類似体または代謝物あるいはその薬学的に許容可能な塩の使用。

【請求項 12】

プロクロルペラジンの前記代謝物が、N - デスメチルプロクロルペラジン、プロクロルペラジンスルホキシド、およびプロクロルペラジンスルホキシド 4' - N - オキシドで構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 11 に記載の使用。

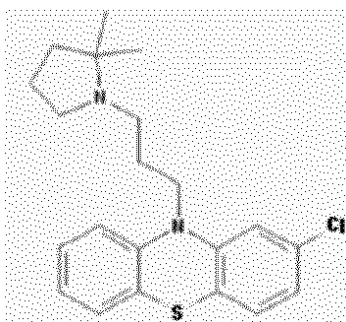
【請求項 13】

プロクロルペラジンの前記代謝物が、N - デスメチルプロクロルペラジンであることを特徴とする、請求項 12 に記載の使用。

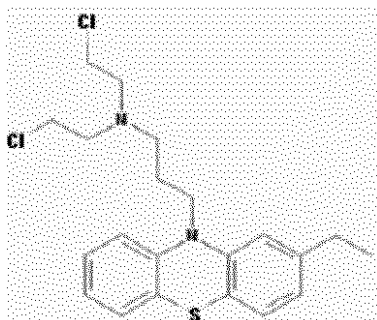
【請求項 14】

プロクロルペラジンの前記類似体が、次の構造の化合物で構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 12 に記載の使用。

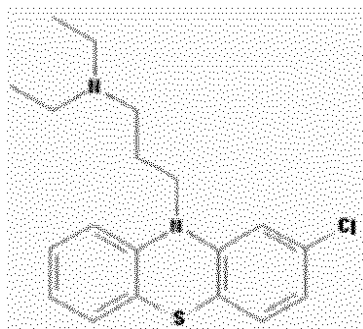
【化 5】



【化 6】

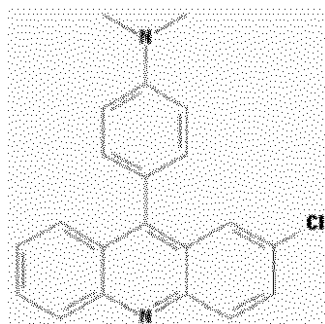


【化 7】



および

【化 8】



【請求項 15】

前記がんが、肺がん、肝臓がん、大腸がん、脳腫瘍、乳がん、すい臓がん、胃がん、腺がん、扁平上皮がん、および大細胞がん構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 16】

前記がんが、肺がん、すい臓がん、胃がん、腺がん、および扁平上皮がん構成される群より選択されることを特徴とする、請求項 15 に記載の使用。

【請求項 17】

前記がんが肺がんであることを特徴とする、請求項 16 に記載の使用。

【請求項 18】

前記肺がんが肺扁平上皮がんであることを特徴とする、請求項 17 に記載の使用。

【請求項 19】

前記化学療法薬がエルロチニブであることを特徴とする、請求項 18 に記載の使用。

【請求項 20】

前記がんが胃がんであることを特徴とする、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 21】

前記胃がんが印環細胞がんであることを特徴とする、請求項 20 に記載の使用。

【請求項 22】

前記化学療法薬が、シスプラチン、イリノテカン、パクリタキセル、ゲムシタビン、ペ

メトレキシド、5 - フルオロウラシル、イリノテカン、ペバシズマブ、TS - 1、オキサリプラチン、およびそれらの組み合わせで構成される群より選択される、請求項20に記載の使用。

【請求項23】

シスプラチン、イリノテカン、パクリタキセル、ゲムシタビン、ペメトレキシド、5 - フルオロウラシル、ペバシズマブ、TS - 1、オキサリプラチン、およびそれらの組み合わせで構成される群より選択される化学療法薬と併用して、治療学的に有効な量のプロクロルペラジンもしくはその類似体または代謝物あるいはその薬学的に許容可能な塩を含む、被験者のがんを治療するためのおよび患者の生存を延長するための、医薬組成物または組み合わせ剤。

【請求項24】

シスプラチン、イリノテカン、パクリタキセル、ゲムシタビン、ペメトレキシド、5 - フルオロウラシル、ペバシズマブ、TS - 1、オキサリプラチン、およびそれらの組み合わせで構成される群より選択される化学療法薬と併用して、治療学的に有効な量のプロクロルペラジンもしくはその類似体または代謝物あるいはその薬学的に許容可能な塩を含む、がん転移を防止するための、医薬組成物または組み合わせ剤。